

# 上勝産の山田錦 純米大吟醸酒に

## 地元建設会社 2000本発売

上勝町傍示の高銓建設は、地元で育てた酒造好適米・山田錦を使った初の商品「純米大吟醸 上勝」＝写真＝を2千本限定で売り出した。

山下俊洋社長が3年前に知人から譲り受けた少量の山田錦を、同社が借り受けている町内の棚田で丁寧に栽培。昨秋収穫した米を本家松浦酒造場(鳴門市)に持ち込み、県立



工業技術センターが開発した酵母や上勝町の天然水を使って、アルコール度数16〜17%の清酒に仕上げた。すっきりした酸味と

キレの良いシャープな口当たりが特徴。和食

はもちろん、イタリア料理やフランス料理とも相性が良く、日本酒が苦手な人にも飲みやすくした。

四国一小さな町でも上を目指してはい上がっていく、という思いを込めて「上勝」と名付けた。高銓建設酒販事業部は「なかなかで

きない良質なお酒に仕上がった。勝負事の前や自分へのご褒美、大切な人への贈り物にして、大事に飲んでほしい」とPRしている。

720本入りで7560円。問い合わせは同社酒販事業部(電話0885(44)1388)。(大塚康代)